

# 俳句

石倉政苑・磯田ひろみ・板倉ちえ子 川那部 瞳・下村幸子・杉中花友 選

## 知事賞

勾玉のような補聴器小鳥くる

吉田 邦子(草津市)

## 特選

力こぶいくつも連らね雲の峰

森 山直佳子(野洲市)

## 特選・滋賀県教育長賞

秋つばめ農百年の深庇

山元 文子(草津市)

## 特選

阿修羅の掌皆向き違へ冬隣

増 永賢一(大津市)

## 特選・産経新聞社賞

水琴のテンポアダージョ秋を待つ

林 尚子(彦根市)

## 特選

喜雨致る大地の吐息和らぎて

花村 久美子(草津市)

特選・時事通信社賞

何もかも背負うと決めて墓洗う

藤野 安(天津市)

特選

仏像の彫りの鑿あと秋日濃し

長 倭子(草津市)

特選

シャンソンの流るるカフェや銀杏散る

森下 吉二三(天津市)

特選

水澄むや湖底に沈む一在所

梅村 敦子(高島市)

特選

春耕や足裏に伝ふ土の息

鎌田 和江(甲賀市)

特選

連風や過去と未来を手繰り寄せ

野口 成人(長浜市)

特選

灯を消してより耳聴し秋の夜

宮崎 敬子(守山市)

特選

早苗田を潤す比良のくぐり水

川越 朱美(高島市)

特選

小春日や母は何度も季節問ふ

川元夢子(草津市)

特選

穂芒の靡きて銀の風となる

前川菅子(彦根市)